

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

平成 30 年 2 月 27 日改正
(平成 30 年 4 月 1 日適用)

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 岐阜後見センター

②施設・事業所情報

名称：三里保育園	種別：保育所
代表者氏名：宇野悦子	定員（利用人数）： 145名
所在地：岐阜県岐阜市六条東1丁目13-12	
TEL：058-271-3578	ホームページ： https://www.tomoikikai.net/shisetsu.php?fukushi-misatohoikuen
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 平成23年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 ともいき会	
職員数	常勤職員： 24名 非常勤職員 13名
専門職員	（専門職の名称）名
	園長 1名 看護師 1名
	副園長 1名 調理員 4名
	保育士 29名 事務員 1名
施設・設備の概要	（居室数） （設備等）
	保育室 7 ほふく室 1 遊戯室 事務室 休憩室 調理室 プール トイレ(子ども用5 職員用2)

③理念・基本方針（※転載）

【保育の理念】

- 子どもの人権や主体性を尊重し、愛情と信頼に満ちた豊かな生活の中で子どもの最善の利益を守ります。
- 子どもにとって最もふさわしい生活の場を保障し、共に育ち合う保育を目指します。
- 家庭支援を積極的に行い、保護者の思いを共有し共に考え子育てを支えていきます。

【保育の方針】

- ◎生きていく力を培う
- ◎笑顔で「おはよう」笑顔で「さようなら」
 - ・一人一人の気持ちや行動を丁寧に受け止め、今日も楽しかった明日が楽しみと思えるように発達や思いに沿った保育を組み立てていきます。
 - ・自分が大切にされていると感じられる環境のもとで基本的な生活習慣の自立を目指し、周りの友達を大切に作る心、少し難しいことにも挑戦していこうとするた

くましい心を育てていきます。

④施設・事業所の特徴的な取組（※評価機関において記入）

- ・園の近隣には、他保育園、小学校、中学校、高等学校等の教育施設及び市立科学館、県立美術館、図書館等の文化施設が徒歩圏内になるため、社会資源として保育活動に取り入れている。
- ・長寿会(老人クラブ)や食生活改善グループ等地域やボランティアとの交流を大切にしながら社会性を高める保育を心がけている。
- ・職場内研修として年齢の若い保育士に対して、先輩保育士が日本の伝統行事(餅つき、七夕まつり等)や季節ごとの童謡等伝え、指導できるように人材育成をしている。
- ・地域の子育て支援施設として、一時預かり、未就園児への園庭開放、親子教室等園が持っている各種機能を提供している。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成30年10月1日（契約日） ～ 平成31年3月28日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	2 回（平成 25 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

<地域に開かれた子育ての拠点施設として、地域交流に努めている。>

散歩等戸外活動を通じた自然や地域社会とのふれあい、地域行事への参加、小中高生や地域のお年寄りとの交流、親子教室、園庭開放、子育て相談等未就園児との交流等、様々な交流を行っている。

<保健安全面に留意し、その時々々の健康に関する情報を提供している。>

毎月、看護師による保健だよりを発行し、その時々々の健康に関する注意事項について保護者に情報提供している。また、元気っ子会を開催し、その月々で身体上気をつけること、健康に過ごすための事柄を伝えている。

<手作りの遊具等により子どもたちの自主性を促している。>

各保育室には、遊びのコーナーがあり、子どもたちの発達に合わせた遊具やおもちゃが手作りである。牛乳パックで帽子や靴下入れ等の製作を通して、子どもたちが「自分でやりたい」「やれた」という自主行動を促し、成長を援助している。

<先輩保育士による丁寧な人材育成が行われている。>

活気にあふれた若い保育士が多く、園長、副園長を始め先輩保育士による助言や指導(伝統行事の伝承、季節ごとの童謡を伝えること等も含めて)や見守りを行う等、丁寧な現場指導が行な

われている。

◇改善を求められる点

＜経営全体に渡る詳細な中・長期計画の策定に向けた取り組みに期待したい。＞

中・長期計画は、保育政策の変動期にある現在、今後の制度動向や経営状況の変化を踏まえ、園として経営の方向性を明らかにした中・長期ビジョンが明確化された内容であるが、経営全体に渡る詳細な計画までには至っていない。今後とも継続して、計画の充実化に向けた取り組みに期待したい。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回の福祉サービス第三者評価の受審を通して、保育の在り方や運営全般について見直す良い機会となりました。特に、評価基準を取り入れた自己評価研修を実施していく過程の中で、職員一人一人の課題意識が高まったことやチームとしての活気に繋がったことを感じています。今後、改善すべきと指摘された点については、継続的に改善に向けた取り組みを行うとともに、評価の良かった点についてもさらなる改善に努め、地域や保護者の子育てニーズに対応した信頼される園運営に努めていきたいと考えています。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。